

## 2026年度 新潟大学出前講義一覧

学部名	No.	対象学年	分野	テーマ(タイトル)	職名	教員氏名	対応可能時期	対面	オンライン (Zoom)
				講義概要					
法学部	1	全学年	憲法	大学で学ぶ憲法の世界～平等ってなあに？～ ◆身近な事例を題材に、平等の意味について解説します。	教授	上村 都	11月中旬まで	○	○
	2	全学年	法律学	将来の進路に向けての大学案内 ◆大学とはどのようなところか、大学でどのような学びができるのかについて法律学を素材に解説します。また、法学部生の進路状況についても説明します。	教授	上村 都	11月中旬まで	○	○
	3	全学年	行政法	行政法 ～生活を支えるインフラの役割に着目して～ ◆私たちの日々の生活には、皆さんが意識はしてなくても、実に様々な行政法の仕組みがあります。地味ではあるけれど、縁の下の力持ち。行政法の世界へようこそ。	准教授	宮森 征司	11月中旬まで	○	○
	4	全学年	地方財政	新潟県の歳入は増えるか:新潟県から考える地方財政入門 ◆新潟県で財政改革が行われる背景について、特に歳入面からわかりやすく解説します。	教授	今本 啓介	11月中旬まで	○	○
	5	全学年	地方自治法	人口減少社会における地方自治のあり方 ◆人口減少・東京一極集中により、ますます地方が疲弊する中、地方分権改革で行われた平成の大合併の限界を明らかにし、これからの日本の地方自治のあり方について考えてみます。	教授	今本 啓介	11月中旬まで	○	○
	6	全学年	民法	あなたの命はいくらですか？—損害賠償法入門— ◆損害賠償請求の事案を通じて、民法が人の死をどのようにしてお金で評価しているか学ぶとともに、その理由について一緒に考えていきます。	教授	上山 泰	11月中旬まで	○	○
	7	全学年	民法	身の回りに潜伏している法律問題を考える ◆普通に生活している分には気付かないが、自分にも関わってくる可能性のある法律問題について解説し、民法という法律がどのようなものなのかを把握してもらいます。	准教授	岩崎 勝成	11月中旬まで	○	○
	8	全学年	民法	民法における権利の意義とその限界 ◆権利濫用法理を検討することを通じて、民法学における権利の意義と限界、延いては民法学(法学)を学ぶ意義を考えます。	准教授	林 滉起	11月中旬まで	○	○
	9	全学年	民法	家族の多様性 ◆養子縁組によって結ばれる親子関係をテーマに、民法上の制度的枠組みと意義を解説し、家族の多様性について考えるきっかけにしたいと思えます。	准教授	喜友名 菜織	11月中旬まで	○	○
	10	全学年	民法・消費者法	消費者の目、企業の目 ◆大学で学ぶ民法の世界を紹介します。	教授	田中 幸弘	11月中旬まで	○	○
	11	全学年	民事法	ハラスメントと法律 ◆身近な言葉となったパワハラ、セクハラ、モラハラを題材に、法律の視点から考えてみましょう。法律ではどのように考えられ、被害者はどのような救済を受けられるのか、実務家(弁護士)の経験を踏まえて紹介します。	教授	近藤 明彦	11月中旬まで	○	○
	12	全学年	民法、民事訴訟法	法律の読み方、用い方 ◆法律の条文には、読み手に応じて、その条文の理解や読み方に違いが生じることがあります。民法及び民事訴訟法を題材として、そのようなことが生じる原因や、その際の対応の仕方等を解説します。	准教授	饒原 淳一	11月中旬まで	○	○
	13	全学年	法律学	進路としての法曹 ◆法学部生の希望進路の一つに弁護士、検察官、裁判官といった専門職(「法曹」といいます。)があります。法学部での学び、そして、その先にある法曹の魅力を経験者(元裁判官)が紹介します。	准教授	饒原 淳一	11月中旬まで	○	○
	14	全学年	刑法	刑罰はなぜ必要か？ ◆犯罪を犯すと、刑罰が科されます。でもそれはなぜでしょうか？ネットなどでは「犯罪者はみんな死刑にすべきだ！」などという過激な意見もあるようです。そんな今だからこそ、改めて刑罰について冷静に考えてみませんか。	講師	根津 洸希	11月中旬まで	○	○
	15	全学年	刑法	AI時代に刑罰は必要か？ ◆刑罰は、犯罪をした人に科されます。では、最近発展著しいAIがこれから起こる犯罪を正確に予測できるようになって、犯罪が未然に防げるようになったら、刑罰は必要でしょうか...？」	講師	根津 洸希	11月中旬まで	○	○

## 2026年度 新潟大学出前講義一覧

学部名	No.	対象学年	分野	テーマ(タイトル)	職名	教員氏名	対応可能時期	対面	オンライン (Zoom)
				講義概要					
法学部	16	全学年	刑事法	刑事法について ◆大学で学ぶ刑事法の世界を紹介します。	准教授	櫻井 香子	11月中旬まで	○	○
	17	全学年	刑事訴訟法	市民が裁判に参加する意義を考える ◆裁判員裁判について紹介します。	教授	稲田 隆司	11月中旬まで	○	○
	18	全学年	商法	会社法と日本経済の関係 ◆会社法と日本経済の関係について、歴史的に見ていきます。	教授	内田 千秋	9月中旬まで	○	○
	19	全学年	商法	企業統治とは何のために必要か ◆会社はどのようにして不祥事を起こすのか、会社を世のため人のためのものにするためにはどうすればいいのか、実例を踏まえながら考える機会を提供します。	助教	酒巻 雄司	11月中旬まで	○	○
	20	全学年	労働法	労働法のraison d'êtreを考える ◆大学で学ぶ労働法の世界を紹介します。	准教授	木南 直之	11月中旬まで	○	○
	21	全学年	法律学	法を学ぶとは何か ◆法学部で法学を勉強することの意味、そして、それが将来何に役立つかなど、法学部に進学することの意義について説明をします。	准教授	木南 直之	11月中旬まで	○	○
	22	全学年	社会保障法	薬価基準 ～ 社会保険における薬の価格 ◆大学で学ぶ社会保障法を医薬品の価格設定を例に紹介します。	教授	田中 伸至	10月～11月中旬まで	○	○
	23	全学年	国際法	国際社会と法～世界と日本の現在(いま)を考える～ ◆世界の様々な問題を取り上げながら、国際社会を理解するために必要なことや、国際社会における法の役割について紹介します。	教授	渡辺 豊	11月中旬まで	○	○
	24	全学年	情報法	「個人情報保護法」入門 ◆個人情報保護法について、何を保護する法律か、歴史と事例に基づき最先端の問題も紹介して、わかりやすく解説します。	教授	鈴木 正朝	11月中旬まで	○	○
	25	全学年	情報法	サイバー犯罪と法 ◆大学で学ぶ情報法の世界、特にサイバー犯罪やサイバーセキュリティの法律について紹介します。	助教	須川 賢洋	11月中旬まで	○	○
	26	全学年	法社会学	大学で法学を学ぶ～意外と身近な法の世界～ ◆法学部では何を学ぶことができるのかを紹介します。	教授	田巻 帝子	11月中旬まで	○	○
	27	全学年	ジェンダーと法	さよーなら！またいつか？～女性、性的マイノリティと法～ ◆身近な事例やドラマ、映画を題材に、女性、性的マイノリティと法の関係を考えます。法は、困っている人、不正義に声をあげる人の「味方」や「武器」になるのでしょうか？	助教	春藤 優	11月中旬まで	○	○
	28	全学年	政治学	地方からみる政治史 ◆地域社会と中央の政治・外交がどのようにつながっているのか、歴史的アプローチから考えます。	教授	稲吉 晃	11月中旬まで	○	○
	29	全学年	政治学	若者と選挙 ～投票する？ 棄権する？～ ◆実際に大学で学ぶ政治学の理論を紹介しながら、有権者が投票するか棄権するかを判断する際の思考メカニズムを説明するとともに、日本における若者、特に18歳～20代前半の有権者の投票参加の実態について、考えます。	准教授	益田 高成	9月中旬まで	○	○
	30	全学年	政治学	日韓関係の過去と現在 ◆日韓関係はどのように変化してきたのか、日韓両国はお互いにどのような影響を与え合ってきたのかを考えます。	助教	李 秉哲	11月中旬まで	○	○
	31	全学年	政治・国際関係	戦後日本の外交路線とその現在 ◆第二次大戦後から現在まで、日本外交がどのような特徴を持ち、どのように変化してきたのかを考えます。	教授	神田 豊隆	11月中旬まで	○	○
32	全学年	行政学	行政サービスは、なぜ提供されているのだろうか。 ◆大学で学ぶ行政学の世界を紹介します。	教授	馬場 健	11月中旬まで	○	○	
33	全学年	教育社会学	大学進学と職業キャリア ◆大学進学(学歴取得)と職業キャリアの関係性について、教育社会学の観点から、考えます。	助教	河野 志穂	11月中旬まで	○	○	